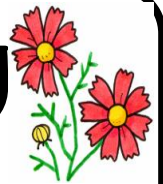




さわやか相談室だより



令和元年9月2日発行 第6号 行田南河原中学校
さわやか相談室 048-557-0302

みなさん夏休みをどのように過ごされましたか？部活に明け暮れていた人、家のお手伝いを沢山した人、のんびりと家の中で過ごした人、3年生など図書館や塾など勉強を頑張っていた人も多かったのではありませんか。思い思いの夏も終わり気持ちの切り替えの時です。

2学期もゆっくりとスタートしました。今学期は体育祭・音楽会などの行事があります。みなさんと協力して盛り上げて頑張ってください。私たちもみなさんの活躍を楽しみにしています。

また季節の変わり目ですので、夏の疲れも出やすい時期でもあります。無理をしないように体調管理には気をつけてお過ごしください。心が疲れてなかなかスッキリできない時は、気分転換をしたり、話を聞いてもらったり、時には胸のつかえを吐き出したり、心をいやすことも必要です。一人で悩まず、お気軽に相談室にお話に来てくださいね。

【6月の名言】

さあ、元気を出して

行動に打って出よう。

どのような運命にも

立ち向かう

勇気を持って。

いよいよ励み

いよいよ求め

苦勞し

時を待つことを学ぶのだ。

（米国の詩人 一八〇七～一八八二）

ロングフェロー

【名言の心】

迷いを吹っ切って

前進しましょう。

母親は 最上級の守護神

子どもにとって母親は、何があっても自分のことを絶対に守ってくれる守護神にたとえられるほど、大切な存在です。そんな絶対的な存在に守られながら、子供は安心して力強く育っていきます。

非行や犯罪に走ってしまう子どもたちは、乳幼児期から、この安心感が十分に与えられずに育っているという確かな実証的研究があります。最初の親を信じることにつまずいてしまうと、うまく人と関係が築けず、社会性が育たないまま、大きくなってしまいます。

親の顔色などを見ることなく、思っていることを本音で言う子どもに育てることは、このうえなく大切な指針です。そのために日常、親はどのような態度と言葉で子育てをするのがいか良く考えてみて下さい。

最近、ちょっと子どもとギクシャクしていると感じていたら、どんなに家事や仕事で忙しくても、子どもの人格やプライドを損なうことは、決して言わないで、子どもと向き合い話をゆっくり聞くことを試してみてください。

中学生で難しい年頃ですが、親子のコミュニケーションは、必要な時間です。大切にしてください。子どもさんの雰囲気が変わったことを実感できるはずですよ。

スクールカウンセラー来校日



9月 13日(金)・27日(金)

橘先生にお話を聴いてもらいませんか？
さわやか相談室は1階会議室の隣です。
保護者の方は事前にご連絡下さい。
生徒さんは昼休み・休み時間などを利用して、相談に来てください。

* 相談員のつぶやき *

2学期は長いようで、
あっという間に……過ぎてしまいます。

みんなで **nakayoku happy**

な時間を楽しんでね～!